

経済産業部

産業振興フォーラムを開催

地域の資源を活かした産業創出で地域活性化を

POINT

「沖縄地域産業立地推進協議会」では、産業立地促進の取り組みを推進しています。

1. 沖縄地域産業立地推進協議会について

沖縄地域産業立地推進協議会(沖産協)は、沖縄における産業・経済の振興を図り、沖縄地域の産業立地を推進することを目的に、平成2年に設立されました。沖産協は経済産業部企画振興課が事務局を担っており、沖縄県を始め県内16自治体と、4支援機関等による21会員で構成されています。

沖産協では前述の目的を遂行するために、産業立地推進の調査研究等、各種事業を実施しています。今年度は会員自治体職員の企業立地マインドやプレゼンテーションスキルの向上を図る「産業立地マネジメント研修」を実施しました。

2. 産業振興フォーラムの開催

産業立地マネジメント研修の成果を研修参加者のもとより、市町村等の関係者に対し広く共有するとともに、地域の産業創出に取り組む方々の意見を通して地域活性化について検討することを目的に、行政

関係者を始め地域振興を担うべきの方を対象に、2部構成による産業振興フォーラムを開催しました。日時:平成24年1月18日(水)場所:沖縄産業支援センター

○【第1部】沖産協研修成果発表

第1部では、研修成果発表として、各自自治体の研修受講生がチーム別に研究してきた企業誘致をテーマにした発表を行いました。

【研修成果発表概要】

Aチーム:「国際貨物ハブを活用した医薬品倉庫業の誘致」
(宜野湾市、那覇市、沖縄県)

Bチーム:「人材育成に視点を置いた企業誘致」
(うるま市、豊見城市、西原町)

Cチーム:「植物工場の誘致」
(八重瀬町、糸満市、南城市)



フォーラム会場の様子

○【第2部】会談(意見交換)

第2部では、「地域の資源を活かした産業創出について」をテーマに、沖産協研修の専任講師である(有)エンデイバーネットワーク取締役金城康則氏をコーディネーターに、伊江島物産センター常務取締役松本壮氏、(有)D. PROJECT取締役紺野昌彦氏の3名による会談が行われました。

初めに松本氏から伊江村の取組について事例紹介があり、その後、3名による意見交換が行われました。

紺野氏からは「ソーシャルメディア

アの活用で、人間らしさも発信でき、地域のブランド力をより高めることができる」と、地域からの情報発信が重要という意見がありました。また、松本氏は「地域にはビジネスチャンスにつながる宝が手つかずの状態が多く残っている」と、地域の魅力を再認識する必要性について言及しました。

今回のフォーラム参加者は約百名と、会場に立見が出るほどの盛況ぶりです。関係者の地域振興に対する関心の高さが伺えました。

沖産協では今後も産業立地推進に向けた取り組みを実施してまいります。



会談の様子
(左から松本氏、金城氏、紺野氏)